

第30回黒部市公共交通戦略推進協議会報告事項及び議案に対するご意見とその回答について

議案に対するご意見とその回答

議案	ご意見	回答
<p>議案第1号 令和元年度収支決算について（監査報告）</p>	<p>交通まちづくり創生事業を実施した効果を明確にして頂ければ、次年度に繋がる。（この事業は令和元年度だけが対象なのか。なぜ令和2年度予算に計上されていないのか。）</p>	<p>交通まちづくり事業の効果については、中長期で検証すべき部分もありますが、短期的な効果としては、第28回協議会でも報告しましたが、大阪屋ショップ・中央小学校前のバス停では、大阪屋側の上屋を整備したことによりバス停の利用者数が増加したことがあげられます。</p> <p>地域創生交付金を活用した交通まちづくり創生事業については、平成28年度から令和元年度までの期間となっており、さらに同一事業での事業期間延長は原則、できないものとなっていることから今年度は予算計上されていません。</p> <p>しかしながら、公共交通に関わる施策は継続性が必要とされますので、同事業で行った施策については、予算の減少による事業縮小はあるものの、他の補助制度等を活用し、継続していくこととしています。</p> <p>【参考】交通まちづくり創生事業の後継事業について</p> <p>①バス停上屋整備（モビリティハブ） 令和2年度黒部市一般会計予算で計上</p> <p>②ちょいのり黒部（モビリティハブ） 令和2年度協議会収支予算（案）備品購入費に計上</p> <p>③その他 各種調査やモビリティブランディング（フリーペーパー）については、協議会予算の委託費や印刷製本費で実施することとしています。</p>
<p>議案第2号 令和2年度収支予算（案）について</p>	<p>2路線の運行支援負担金のうち約85%をYKKが担っている。運行便数の見直し及び負担額の軽減を検討して頂けないでしょうか。</p>	<p>本市の公共交通網を持続させるためには、市補助金や民間企業の支援は必要ですが、一方で運行経費の増大が大きな課題となっており、今般策定した第2次地域公共交通網形成計画でも基本方針で「公共交通網の持続に向けた運行体系の確立」を掲げ、運行経費や運行便数の効率化について、検討していくこととしています。</p>